

# 関常幸 議会報告

第20号  
2010.10

発行責任者  
南魚沼市議会議員 関 常幸  
南魚沼市浦佐2015番地  
TEL 025-777-2245



## 稔りの秋に思う！

日本の経済や政治、農業情勢は混沌としていますが、秋の収穫は、私たち農家にしか味わえない幸せと喜びを与えてくれる。そのコシヒカリの出来具合が今いちだ。

ある技術者は、今年のコシヒカリー等米比率が悪いのを、今年の天気(登熟期間の高温)にかずけている。天気のせいにするのであれば、技術者や指導者はいない……。そして石川県や福井県は、本県とほぼ同じ天気で

推移したと思うが、コシヒカリの一等米比率は良い。このことをどう説明するのか！！

温暖化がすすむ中で、本県の研究者、技術者、農家、消費者が一体となって、問題解決に取り組まないと「コメ王国・新潟」に陰りが見えてくる。ここ魚沼は日本一のコメ産地だ。魚沼の宝・コシヒカリの栽培技術を一層磨き、他産地の追従は許さないという強い意志と誇りが大切だ。

コシヒカリの収穫の真っ只中、日本外交の弱さが露見した。尖閣諸島沖で起きた中国漁船の衝突事件だ。中国漁船船長逮捕に対日貿易で輸出等の制裁を科してきた。その大国の力におびえ、船長を釈放した。日本は、釈放で中国が軟化してくると思ったのだろうが逆に、謝罪と賠償金を要求してきた。船長を逮捕することは、中国と喧嘩をするわけだが、菅首相は中国に勝つというシナリオがあって逮捕したのか……。民主党は中国要人との人脈も少なく、解決に向けての手腕が試される。これからどのような手段を講じて、日本の利益を守っていくのか。

私たち国民が安心して暮らして行くには、世界と仲良くし、共に繁栄して行くことが大切だ。東アジアは世界の成長国であり、その安定は世界全体の繁栄につながる。その要である日本と中国の関係が不安定であることは、地域の発展を大きく阻害する。

日本と中国は悠久の歴史で結ばれており、感情に走らないで大国の責任を果たすことが大切だ。稔りある解決を臨む。



稔りの秋に感謝して

## 9月定例議会～平成21年度決算認定

9月議会は決算議会と言われ、会期は十六日間。21年度決算審査に当たっては、予算が議決した目的に従って適正に執行されたか。そして行政効果が発揮され、市民サービスが万全かという視点から議事に臨む。

七日議会の初日、22年度一般会計補正予算で、歳出2款1項総務管理費、7目企画費の「設計業務委託料」1、000万円を削除した修正動議が、野球場建設反対議員から提出され、議場は白熱した熱い討論で、9月議会がスタートする……。

### ・ 社会厚生委員会

基幹病院との関連で病院事業に多くの質問が、そして国保の21年度決算では原案に共産党が反対する。

### ・ 産業建設委員会

下水道は繋ぎ込み、水道は高い料金、2事業とも多額の滞納や未収金が存在しており対策に意見が集中。

### ・ 総務文教委員会

陳情2件が審査され、採択される。

十三日から一般質問、十六日から

議案審査、21年度一般会計決算認定

審査。二十二日委員長審査報告、追

加議案3件、3件の発議・意見書を

内閣総理大臣にあげることを採択

し、9月議会は閉会した。

## 一般質問(9月14日)

### ●市民一人スポーツの推進について

浦佐耐久山岳マラソン大会に、招待した福田六花氏は、「医者であり、ランナーであり、ミュージシャン」だ。かつて大学病院の医者であり、外科医として1000例以上の手術を手がけた。しかし、激務と不摂生の生活で92kgまで太り、命が危ないと思ったそうだ。その頃ランニングに出会い、走ることで体重が徐々に減り、30kgの減量を果たした。

その六花氏と懇談する中で、マラソン談議はもちろんだが、少子高齢化が益々進む中、日本の社会保障の脆弱さを改めて学ぶ。

医療・福祉・年金の社会保障給付費は88兆円。日本の国家予算を上回っている。65歳以上の高齢化人口は、2025年には30%に、2050年には40%に達する。そして、社会補償給付費は毎年3兆円づつ増えて行く。このままでは大変だ。

南魚沼市は県内で一番の長寿のまち、一人当たり医療費も安い方から3番目。しかし、当市の一人当たりの医療費は年々上がってきている。

日本の総医療費は年間32兆円(当市220億円)、そのうち生活習慣病10兆円(当市70億円)。二人に一人、スポーツを行えば生活習慣病の5兆円(当市23億円)は節減できる。その原資を福祉にと六花氏は熱く語る。健康と福祉の充実を望まない市民はいない。「市民一人スポーツの推進」を積極的に行なうべきだが市長の所見を伺う。

### <市長・教育長>

市民一人スポーツという考えは導入する。

「スポーツ振興基本計画」が、社会教育の分野だけでなく、医療・保険・福祉という面からも考え、市民62,000人の計画にしたい。

### ●収穫の秋を素直に喜べる農政を

この秋には米が60~80万トンの過剰に出回り、米価が下がることが明白だ。それに対し対策を打たない民主党農政は何なんだと声を大にして叫ぶ。私はわからないのが、22年産米から「集荷円滑化事業」を止めてしまったことだ。この事業は、豊作で米が余ったときには、その豊作分を生産者の抛出金で主食用以外にまわす仕組みで、この事業を止めなければ、今年の豊作分20万トンは市場から隔離されるはずだ。

今の山田農林大臣はかつて500万トンの備蓄を主張していた。農林省も100万トンの棚上げ備蓄を、23年度から実施するという方針を出している。なぜそれが前倒しできないのか不思議だ。

民主党は根本に、自民党が行なってきた農政は、全部ダメなんだというのが根底にあるような気がする。そして民主党は、担い手中心の政策から販売農家全戸に軸足を移した。それが「戸別所得補償制度」であり、一律10万円15,000円支払いするものだ。

過剰米対策を取らない理由に「米価が下がっても、戸別所得補償制度で必要なコストを補てんするのだから、制度に加入しようという人が増えるようにする。そのために過剰米対策は講じない」と言っているようだ。

米づくりに将来展望はあるのだろうか！収穫の秋を素直に喜べる農政のあり方について伺う。

### <市長>

今まで経験したことのない衝撃の秋だ。農業を衰退させて栄えた国は無いので、日本農業の再生を国、県に強く求めていく。

JAは低利の貸付け金利、農業用に使う燃料費の価格下げ等を行なっておる。市も今後の状況を見て、財政出動を考える。

7/4 防災訓練・バケツリレー



7/18 夏祭り山門を目指す

7/23 斉藤県議現地巡回



7/27 第55回全国野菜園芸技術研究会新潟大会

## 9月議会概要(7日~22日)

### ★ 市長所信表明



- 8/25、第1回魚沼基幹病院財団法人設立準備委員会が開催される。
- 住宅用火災報知器設置義務化に伴い、高齢者、1人親世帯などを対象に助成。
- 学区再編集落懇談会始る。(大巻、城内、五十沢の中学校区と上田地区で)
- 8月に中学生20名アメリカ合衆国へ派遣。
- 六日町中学校野球で県大会3位となる。吹奏楽で塩沢中学校が県大会金賞。
- 6月29日に「図書館基本整備基本構想」答申いただく。
- 救急経済対策、住宅リフォーム事業~975件・補助金7,773万円、  
14.6倍の事業効果。
- (株)ウオロクの市民会館駐車場を用地とした大型店舗出店は断わる。
- 今年産米仮渡し金は16,500円であり、米情勢悪化に対する懸念を表明する。

### < 野球場建設、反対派と賛成派で議場は熱く議論!! >

議会初日の22年度一般会計補正予算に、大原運動公園整備基本設計に1,000万円が計上される。野球場建設に否定的な議員から、修正動議が提出されるのは、まちがないと踏んでいた。お昼や午後の休憩時間に、質疑の中で市長の答弁によっては、反対しないとの情報も入ってくる。15時頃から傍聴席は、この問題の関心の高さから大勢の市民でほぼ満杯(野球場建設反対者がほとんどのような気がした……!!)になる。

質疑の中で市長は、野球場建設の答申がなされたが、その基本設計だけでなく、幾つかの案を提示すると応えたので、修正動議は出ないなと思った。しかし、第75号議案平成22年度一般会計補正予算(第4号)に対する修正動議が出される。提出者・笠原喜一郎、賛成者・岡村雅夫、牛木芳雄からだ。

提出者の提案説明があり、議場内は白熱した意見が飛び交う。修正動議を出した3名、三会派7人の考えも一枚岩でなく、執行部寄りの意見も出される。提出者・笠原議員の答弁も質問に対して時々つかえる……。質疑が終り反対賛成討論では、原案賛成・修正動議反対の林議員の討論は良かった。それぞれ、3名ずつの賛成反対討論が続き採決にはいる。原案賛成・修正動議反対は19名、修正動議賛成・原案反対は6名で、野球場建設は一步前進する……。

この採決は、野球場建設を含む大原運動公園の整備基本設計1,000万円に賛成したのであって、野球場建設の是非とは違う。

私が議員となり、議会が19時半まで延長したのは初めてだ。このように一つの案件で、財政問題やスポーツ施設の充足、交流人口の増加、青少年の育成までも議論が深った事は良かった。

野球場建設を政治的に活用するのではなく、真っ正面に据えて議論しよう……。



8/7 夕涼み  
「生ビール・鮎まつり」

8/9~10 一日一休さん



8/7~16 山門ライトアップ

8/29 浦佐地区  
市民明朗運動会



## かわら版(ミニ情報)

### ★ 第24回山岳マラソン大会 (9月5日)

8時30分、大会会長井口市長の号砲で、2,000人のランナーが一斉に飛び出す。今日も猛暑35度以上だ。リタイアは多かったが、救急車の出動もなく安堵する。

15時ゴール閉鎖。今年も多くのドラマや熱戦が展開された。大会を支えたボランティア230名の皆さんご苦労様でした。16時浦佐大区長・柳さんの乾杯でスタッフの反省会が始る。大いに盛り上がった。



### ★ 絵画展オープニングパーティ (9月11日)



前総理大臣婦人、鳩山さんも来る



大使婦人の作品

インド大使婦人、ムリナーリニ・シン絵画展が池田記念美術館で9/12~27まで開催され、多くの来場者に感銘を与えた。キャンバス一杯に描かれた絵は、私たちに夢と希望を与え、地球上から争いのない平和を願っていると思った。

9/11当日は、インド大使閣下を始め多くの来賓で絵画展を祝った。

### ★ 9月12日 浦佐地区敬老会 (会場は「てしまや」さんと「たもん荘」さん)

お年寄りに感謝し、区会と婦人会主催で賑やかに盛大に会が進められる



開会の挨拶



新町



富町



天王町



浅地町

### ★ 葡萄&ワイン祭り

19日と20日の2日間、八色の森公園で、「ワイン祭り」が開催される。ぶどうのもぎ取り、抽選会等に大勢の家族連れが参加し、秋の一日を楽しんだ。



### ★ ウォーキング大会(9月23日)

今年で3回目を迎えた「八色の森公園ウォーキング」。今年は、毘沙門様を巡る約10キロのコース。あいにくの雨となったが、びしゃもん市前の温かいお茶に参加者は一息つく。



### ★ 親子田んぼ教室 (9月25日)

(有)ウラコウでは、お米の大切さと田んぼが、地球環境に果たしている役割等を学んでもらおうと、春の田植えに続いて「稲刈り」に挑戦してもらった。参加者は一家族5キロの新米コシヒカリをプレゼントされ大喜び。



#### 編集後記

あの猛暑から一転  
朝晩涼しい日が続い  
ています。季節の変  
わり目は、特に体調  
管理に気をつけて下  
さい。

今年コシヒカリの  
品質(一等米比率低  
い)が、悪いよう  
ですが、食味は大  
丈夫。やっぱり日  
本一の味だ……。  
魚沼の宝だ。  
我家の孫「桜子」  
が寝返りを打ち、  
家中の拍手拍手に  
キョトンとする翔  
乃介。

#### お知らせ

「びしゃもん市」十  
月の小さなお祭り  
は二十三日(土)で  
す。評判の「焼きそ  
ば」と収穫に感謝  
して「餅つき」も行  
ないます。政五郎  
ソバ屋さんが来る  
かな!お楽しみに  
……。